The Japan Association for Research in Singing

日本声楽発声学会

第114回 例会

声と科学をつなぐ

■研究発表

1．林いのり（座長：小森輝彦）
歌劇《シモン・ボッカネグラ》における「朗唱風の歌」と、
19世紀後半のイタリアにおける「演劇的な抑揚」の関連性

2．西浦美佐子・遠藤志葉・生嶋一朗・増田貴寛　（座長：三枝英人）
頭蓋骨の解剖学的観点による声楽のための発声方法の探求
～頭部３Ｄ CT画像を用いて～

■特別講演

高橋 純（大阪芸術大学講師）　司会：佐々木正利
「声楽発声と科学」

■現役声楽家の演奏とお話　司会：小森輝彦

小原啓楼（テノール・愛知県立芸術大学教授）

2024/5/26(日)

9:55～16:30（受付開始 9：30）
東京藝術大学　（JR上野駅より徒歩10分）
大講義室（５－１０９）
第６ホール

正会員・学生会員：無料（年会費納入をご確認ください）
一般臨時会員：6,000円
学生臨時会員：1,000円（学生証をご提示ください）

※昼食は各自ご用意ください
※臨時会員としてご参加の方は、5月17日（金）までに参加費をお振込みのうえ、当日、振込受領書等をご持参ください
（当日参加受付も可能ですが、資料準備の都合上、事前申込みにご協力をお願いいたします）

●参加費振込先
郵便振替口座：00170-0-119920
加入者名：日本声楽発声学会
※通信欄に「5/26例会参加費」および、住所、氏名、所属・紹介者をご記入ください

〈お問い合わせ〉
日本声楽発声学会事務局　佐々木 徹
（メールまたはFaxでお問い合わせください）
Mail： info@jars-voice.org
Tel/Fax： 03-6804-0626
〒154-0002 東京都世田谷区下馬3-14-4
http://www.jars-voice.org

日本声楽発声学会

第 114 回　例会
第 60 回　総会

令和６年（２０２４年）５月２６日（日）
９：５５～１６：３０（受付９：３０より）

東京藝術大学音楽学部

大講義室（５−１０９）・第６ホール

（JR 上野駅公園口より徒歩 10 分）

（お願い）

① 携帯電話等音の出るものは電源をお切りください。

② 録音録画、写真撮影は固くお断りいたします。（なお、本学会では記録用として録音録画はしますが、それ以外は個人のプライバシー保護のため、厳禁といたします。違反の場合は機材等を学会でお預かりすることがあります。）

日本声楽発声学会　第 114 回例会プログラム

総合司会　　副会長　池田京子

開会挨拶　9:55～10:00　　会長　佐々木　正利

A. 研究発表　10:00～12:00　（5-109 大講義室）　　司会　齊藤　祐

１）10:00～10:25 発表、10:25 ～10:30 質疑応答
発表者：林いのり（座長：小森輝彦）

テーマ：歌劇《シモン・ボッカネグラ》における「朗唱調の歌」と、19 世紀後半のイタリアにおける「演劇的な抑揚」の関連性

概要：本発表は、ジュゼッペ・ヴェルディの歌劇《シモン・ボッカネグラ Simon Boccanegra》(1857,1881) の特徴とされる「朗唱調の歌 canto declamato」と、19 世紀後半のイタリアにおけるオペラ歌唱に対する価値観との関連性を指摘するものである。発表の前半では、《シモン・ボッカネグラ》両版における「朗唱調の歌」の差異を、作曲技法の違いと、上演評に見る受容の違いから指摘する。後半では、19 世紀後半のイタリア・オペラ批評の言説から、歌唱上の演技を指す「演劇的な抑揚 accenti drammatici」が重要視されていたことを確認し、《シモン》における「朗唱」の変化との関連性を考察する。

略歴：東京藝術大学音楽部声楽科卒業、お茶の水女子大学大学院博士課程修了。ジュゼッペ・ヴェルディの作品研究で博士号取得（人文科学）。演奏活動・音楽講師活動のほか、演奏会プログラムの曲目解説の執筆や台本講読指導に従事。声楽を故児島百代、栗林朋子、菅英三子各氏に師事。現在お茶の水女子大学基幹研究院研究員、あさみ音楽教室講師。

２）10:35～11:00 発表、11:00～11:05 質疑応答
発表者：西浦美佐子、遠藤志葉、生嶋一朗、増田貴寛（座長：三枝英人）

テーマ：頭蓋骨の解剖学的観点による声楽のための発声方法の探求　～頭部 3D CT 画像を用いて～

概要：歌手は、歌声を響かせるテクニックを、「声を当てる」、「声を置く」などの言葉を用いて、身振り手振りで、慣用的・抽象的・主観的に表現することが多い。我々は、頭蓋の解剖を理解することで、より客観的に捉える助けになると考え、3D CT 画像・模型等を用いて検討した。その過程で、西浦は、「声の的」という言葉を提案し、頭蓋に複数の「声の的」があり、的から的へ、音域の切り替えを行っていると推察した。顔面頭蓋に胸声区、脳頭蓋に頭声区の「声の的」があり、その変わり目の「change」は、上咽頭に相当する空間ではないかと考えた。また、「声の的」の応用編として、歌唱表現について考察し、当日は実践をまじえて発表する。

略歴：西浦 美佐子：西浦耳鼻咽喉科院長　　遠藤 志葉：国立音楽大学講師
生嶋 一朗：都城市郡医師会病院放射線科部長　　増田 貴寛：新国立劇場オペラ研修所第 21 期生

総会準備・休憩　11:05～11:15

～～～

C. 現役声楽家の演奏とお話　15:20～16:20　（第 6 ホール）　司会：小森輝彦

講師：小原啓楼（テノール・愛知県立芸術大学教授）　ピアニスト：小原真知子

演題：『発声技術から考えるベルカントへの視座』～近代以降のテノールに課せられたアクートの成り立ち～

概要：アクートと呼ばれるテノールの輝かしい高音は、近代以降のオペラ・オラトリオ等において非常に重要な役割を担ってきた。しかし、その芸術的な成り立ちや歴史的経緯は、声楽教育の現場においてそれほど重要視されてこなかったように思われる。私自身も、ビジネスの現場の使用に耐える高音を獲得するためにたくさんの回り道をした。その結果得られた知見の一部を皆さんにご紹介したいと思う。

略歴：東京藝術大学卒業。同大学院修士号及び博士号取得。オペラでは新国立劇場・東京二期会を中心に活躍。近年では『フィデリオ』フロレスタン役（東京二期会／京都ロームシアターオープニング公演)、『ローエングリン』表題役（びわ湖ホールオペラ／二期会)、『蝶々夫人』ピンカートン役（二期会)、『トロヴァトーレ』マンリーコ役（二期会)、松村禎三『沈黙』ロドリゴ役（新国立劇場)、團伊玖磨『夕鶴』与ひょう役（新国立劇場）等がある。コンサートでも数多くのプロオーケストラと幅広い作品で共演。愛知県立芸術大学教授。二期会会員。

ピアノ：小原真知子　おはらまちこ
略歴：都立芸術高校（現都立総合芸術高校）音楽科ピアノ専攻入学、声楽専攻に転科し卒業、東京藝術大学声楽科卒業。中高、専門学校等で教えながら音大受験指導を含む個人レッスンを行ってきた。伴奏ピアニストとしても活動。

曲目：Salut! demeure chaste et pure《Faust》

Ah! mes amis quel jour de fête《La fille du régiment》

Celeste Aida《Aida》

E lucevan le stelle《Tosca》

Gott! welch' Dunkel hier《Fidelio》

Caro mio ben

閉会の挨拶　副会長・事務局長　齊藤　祐

2024 年度(令和 6 年度)

第 60 回総会議案

2024 年 5 月 26 日(日)

於:東京藝術大学

日本声楽発声学会

第 60 回総会次第

1. 開会の辞

2. 会長挨拶

3. 総会成立報告

4. 議長および議事録署名人選出

5. 議 題

審議事項

［議案 1］2023 年度(令和 5 年度)事業報告
［議案 2］2023 年度(令和 5 年度)収支決算報告
［議案 3］2023 年度(令和 5 年度)会計監査報告
［議案 4］2024 年度(令和 6 年度)事業計画
［議案 5］2024 年度(令和 6 年度)予算案
［議案 6］日本声楽発声学会会則改正について
［議案 7］その他

報告事項

(1) 役員、会員の動向について
(2) 学会ホームページ見直しについて
(3) 会費納入状況、およびシステムの見直しについて
(4) 学会理念および倫理綱領作成検討委員会について
(5) 声楽発声用語集再編纂について
(6) 会員名簿作成状況について
(7) その他

6. 連絡事項等

7. 閉会の辞

第 60 回総会議案書

審議事項

［議案 1］ 2023 年度(令和 5 年度)事業報告

「第 112 回例会」 2023 年 6 月 4 日(日)　　会場:東京藝術大学

A「研究発表」: 1.川上勝功氏、2.小森輝彦氏

B「特別講演」: 竹本浩典氏「舌の変形による声道形状と共鳴の制御」

C「現役声楽家の演奏とお話」: 山本耕平氏、Pf:中ノ森めぐみ氏

「夏季研修会＆歌の集い」 2023 年 8 月 23 日(水)～24 日(木)

会場:日本福音ルーテル東京教会

23 日 A「特別講演」: 木下マティアス義久氏

「関係性・本質・創造性～子供たちの合唱体験の設計について」

B「現代日本の作曲家シリーズⅪ」: 信長貴富氏

「言葉と旋律の関係、詞と和声の関係」

24 日 C「公開講座」: 萩野仁志氏「声の診療に関して」

D「歌の集い」: 1.及川泰生氏 2.表まり子氏 3.西野真史氏 4.牧山亜紀子氏

「第 113 回例会」 2023 年 11 月 26 日(日)　　会場:東京藝術大学

A「研究発表」:1.豊田喜代美氏、2.齋田晴仁氏、3.梅村憲子氏、森幹男氏

B「特別講演」:廣芝新也氏「声を治すことは心を治すこと-音声外科と美しい医療-」

C「現役声楽家の演奏とお話」: 佐橋美起氏、Pf:佐藤文雄氏

2023 年定例理事会開催記録

⊙ 2023 年度(令和 5 年度)第 1 回理事会議

2023 年(令和 5 年)6 月 4 日(日) 18 時 00 分～19 時 40 分（於：東京文化会館会議室 2)

出席者:佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子、入川めぐみ、上杉清仁、梅村憲子、岡﨑順子、小森輝彦、三枝英人、田中昌司、渡辺修身、佐々木徹(事務局)

欠席者(委任状あり)：佐橋美起、竹田数章、鈴木慎一朗、西浦美佐子、吉田浩之

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 2 回理事会議(Zoom によるオンライン会議)

2023 年(令和 5 年)7 月 3 日(日) 19 時 00 分～21 時 15 分

出席者:佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子、入川めぐみ、上杉清仁、梅村憲子、岡﨑順子、小森輝彦、鈴木慎一朗、竹田数章、西浦美佐子、田中昌司、渡辺修身、佐々木徹(事務局)

欠席者(委任状あり):三枝英人、佐橋美起、吉田浩之

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 3 回理事会議(Zoom によるオンライン会議)

2023 年(令和 5 年)8 月 8 日(火) 19 時 00 分～21 時 00 分

出席者:佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子、入川めぐみ、上杉清仁、梅村憲子、岡﨑順子、小森輝彦、三枝英人、佐橋美起、竹田数章、西浦美佐子、田中昌司、吉田浩之、渡辺修身、佐々木徹(事務局)

欠席者(委任状あり):鈴木慎一朗

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 4 回理事会議

2023 年(令和 5 年)8 月 24 日(木) 16 時 00 分～17 時 40 分 (於:日本福音ルーテル教会)

出席者:佐々木正利、齊藤祐、森井佳子、入川めぐみ、上杉清仁、梅村憲子、佐橋美起、鈴木慎一朗、竹田数章、西浦美佐子、渡辺修身、佐々木徹(事務局)

欠席者(委任状あり):池田京子、岡﨑順子、小森輝彦、三枝英人、田中昌司、吉田浩之

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 5 回理事会議(Zoom によるオンライン会議)

2023 年(令和 5 年)10 月 2 日(火) 19 時 00 分～21 時 00 分

出席者:佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子、入川めぐみ、上杉清仁、梅村憲子、岡﨑順子、小森輝彦、三枝英人、鈴木慎一朗、竹田数章、西浦美佐子、田中昌司、吉田浩之、渡辺修身、佐々木徹(事務局)

欠席者(委任状あり):佐橋美起、吉田浩之

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 6 回理事会議(Zoom によるオンライン会議)

2023 年(令和 5 年)11 月 13 日(月) 19 時 00 分～21 時 00 分

出席者: 池田京子、齊藤祐、森井佳子、入川めぐみ、梅村憲子、岡﨑順子、三枝英人、鈴木慎一朗、竹田数章、田中昌司、西浦美佐子、佐々木徹(事務局)

欠席者(委任状あり):佐々木正利、上杉清仁、小森輝彦、佐橋美起、吉田浩之、渡辺修身

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 7 回理事会議

2023 年(令和 5 年)11 月 26 日(月) 16 時 30 分〜16 時 55 分 (於：東京藝大大講義室 5-109)

出席者: 佐々木正利、池田京子、森井佳子、入川めぐみ、梅村憲子、三枝英人、佐橋美起、鈴木慎一朗、西浦美佐子、吉田浩之、渡辺修身、佐々木徹(事務局)

欠席者(委任状あり)：齊藤祐、上杉清仁、岡﨑順子、小森輝彦、田中昌司

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 8 回理事会議(Zoom によるオンライン会議)

2024 年(令和 6 年)2 月 19 日(月) 19 時 00 分〜21 時 00 分

出席者: 佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子、入川めぐみ、上杉清仁、梅村憲子、岡﨑順子、小森輝彦、三枝英人、鈴木慎一朗、竹田数章、田中昌司、西浦美佐子、佐々木徹(事務局)

欠席者(委任状あり)：佐橋美起、吉田浩之、渡辺修身

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 9 回理事会議(Zoom によるオンライン会議)

2024 年(令和 6 年)3 月 3 日(日) 19 時 00 分〜21 時 00 分

出席者: 佐々木正利、齊藤祐、森井佳子、入川めぐみ、梅村憲子、岡﨑順子、小森輝彦、三枝英人、佐橋美起、田中昌司、西浦美佐子、渡辺修身、 佐々木徹(事務局)

欠席者(委任状あり)：池田京子、上杉清仁、鈴木慎一朗、竹田数章、吉田浩之

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 10 回理事会議(Zoom によるオンライン会議)

2024 年(令和 6 年)4 月 15 日(月) 19 時 00 分〜21 時 00 分

出席者: 佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子、入川めぐみ、梅村憲子、小森輝彦、三枝英人、佐橋美起、鈴木慎一朗、竹田数章、田中昌司、西浦美佐子、吉田浩之、渡辺修身、 佐々木徹(事務局)

欠席者(委任状あり)：上杉清仁、岡﨑順子

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 11 回理事会議(Zoom によるオンライン会議)

2024 年(令和 6 年)5 月 13 日(月) 19 時 00 分〜21 時 00 分　開催予定

執行部会開催記録

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 1 回執行部会議

2023 年(令和 5 年)6 月 23 日(金) 12 時 00 分〜13 時 45 分 (神楽坂 椿屋珈琲店)

出席者: 佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 2 回執行部会議(Zoom によるオンライン会議)
2023 年(令和 5 年)7 月 13 日(金) 19 時 00 分〜21 時 00 分
出席者: 佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子、竹田数章

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 3 回執行部会議(Zoom によるオンライン会議)
2023 年(令和 5 年)9 月 11 日(月) 19 時 00 分〜20 時 40 分
出席者: 佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 4 回執行部会議(Zoom によるオンライン会議)
2023 年(令和 5 年)10 月 30 日(月) 19 時 00 分〜21 時 00 分
出席者: 佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子、竹田数章

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 5 回執行部会議(Zoom によるオンライン会議)
2024 年(令和 6 年)1 月 9 日(火) 19 時 00 分〜21 時 00 分
出席者: 佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子、竹田数章

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 6 回執行部会議(Zoom によるオンライン会議)
2024 年(令和 6 年)3 月 19 日(火) 19 時 00 分〜21 時 00 分
出席者: 佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子、竹田数章、佐々木徹

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 7 回執行部会議
2024 年(令和 6 年)4 月 27 日(土) 11 時 50 分〜13 時 00 分 (「カフェ ラ ミル」横浜本町店)
出席者: 佐々木正利、池田京子、齊藤祐、森井佳子、佐々木徹

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 8 回執行部会議(Zoom によるオンライン会議)
2024 年(令和 6 年)5 月 8 日(水) 19 時 00 分〜21 時 00 分
出席者: 佐々木正利、齊藤祐、森井佳子、竹田数章、佐々木徹

教育・研究部開催記録

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 1 回教育・研究部会議(Zoom によるオンライン会議)
2023 年(令和 5 年)7 月 25 日(火) 19 時 00 分〜19 時 45 分
出席者:池田京子、三枝英人、田中昌司、渡辺修身
欠席者:梅村憲子

会計監査委員会開催記録

◉ 2023 年度(令和 5 年度)第 1 回会計監査

2023 年(令和 5 年)4 月 14 日(日) 10 時 00 分～11 時 30 分（ルノワール 上野不忍店）

出席者: 佐々木正利、齊藤祐、移川澄也、山本富美、佐々木徹

出版物

◉ 学会誌『声楽発声研究』No.14 2024.5 月 発行済

◉『学会通信』

No.49 2023.4 月 発行済

No.50 2023.10 月 発行済

No.51 2024.3 月 発行済

［議案 2］ 2023 年度(令和 5 年度)収支決算報告（次頁参照）

① 決算報告説明

◉ 2023 年度収支決算報告について

2023 年度の決算は、262,991 円の赤字となった。

収入の部では、新入会員数の増加による入会金、年会費の増加、年会費未収金の回収により会費からの現金収入だけで 3,000,000 円を超えた。事業収入は、例会の臨時会員参加者数は少しずつ増えているが、夏季研修会は前期から参加者数があまり変わっておらず、増減はほとんどない。

支出の部では、前期は動画制作費が嵩みさらに収入が少なかった理由から、今期は圧縮した支出予算の設定をしていたが、例年とほぼ変わらない支出額となった。

赤字額は大幅な収入増の理由から、前期と比べて約 5 分の 1 に減らすことが出来た。

◉ 収入の部の決算額について

財産目録にも記載されているが、年会費の未収金は会計上では資産扱いとなる。収支決算報告書の正会員会費の収入には、今期未収金分として約 150,000 円が計上されている。しかしながら、この未収金は現金化されないことには資金として使用することは出来ず、学会の運営に支障をきたすことにもなりかねない。

引き続き会員の方へ円滑な学会運営を執り行えるよう毎年の年会費納入をお願いし、また未収分についても納入を呼び掛けていきたい。

以上、決算報告の説明とする。

② 財産目録

［議案 3］ 2023 年度(令和 5 年度)会計監査報告（次頁参照）

日本声楽発声学会　令和5年度収支決算書

自　令和5年4月1日　　至令和6年3月31日

収入の部

（単位：円）

項目	予算	決算	差引残高	備考
正会員会費	2,500,000	3,158,000	658,000	入会金、年会費
事業収入	850,000	400,700	△ 449,300	臨時会員参加費、夏季研修会参加費及びチケット代
雑収入(利息　等)	95,000	83,000	△ 12,000	広告掲載料、寄付金
合計	3,445,000	3,641,700	196,700	

支出の部

（単位：円）

項目	予算	決算	差引残高	備考
理事会　委員会　学会関連費				
（学会運営費）	740,000	957,669	△ 217,669	例会、夏季研修会講師謝礼及び交通費、vimeo年間使用
（会議費）	40,000	42,000	△ 2,000	zoom年間使用料、会議室使用料
印刷費				
（学会誌）	850,000	823,130	26,870	学会誌
（その他）	230,000	224,225	5,775	例会・総会資料、学会通信等
通信費				
（発送費）	250,000	240,696	9,304	総会資料、学会誌、学会通信
（電話代）	45,000	51,340	△ 6,340	事務所電話代
（振込手数料）	50,000	6,480	43,520	郵便通知料金を含む
（HP運営・作製）	132,000	135,479	△ 3,479	HP維持管理費用
（選挙関連費）	20,000	22,930	△ 2,930	選挙後納郵便代金
学術会議関係費	50,000	50,000	0	日本学術会議協力研究団体協力金
研究費補助等	30,000	30,000	0	長野支部研究費
【事務局運営管理費】				事務局運営全般
事務所費				
（資材保管料）	30,000	30,000	0	学会誌のバックナンバー保管
（事務所費）	120,000	120,000	0	10,000×12
（交通費）	4,000	9,248	△ 5,248	
（会計指導料）	88,000	93,720	△ 5,720	遠藤会計事務所、弥生会計年間使用料
人件費				
（事務局員）	620,000	629,000	△ 9,000	50,000×12 事務局員手当
（アルバイト代）	87,000	126,000	△ 39,000	夏季研修会、例会スタッフ手当
事務費				
（事務費）	50,000	71,129	△ 21,129	学会封筒、事務用品、プリンタインク等
機材、備品費	3,000	10,000	△ 7,000	HDMIケーブル
広告宣伝費	0	0	0	
旅費交通費	4,000	18,432	△ 14,432	例会打合せ、印刷作業
（選挙関連費）	40,000	49,000	△ 9,000	開票作業交通費
雑費				
（雑費）	60,000	88,703	△ 28,703	例会弁当代、理事講師昼食代
（選挙関連費）	0	5,510	△ 5,510	会長選挙飲食代
貸倒損失	0	70,000	△ 70,000	3期分1名、4期分1名
予備費	0	0	0	
計	3,543,000	3,904,691	△ 361,691	

収入合計　－　支出合計　＝　　△ 262,991

上記の通り報告致します。

2024年4月14日

会長　佐々木正利

事務局長　齋藤祐

監査の結果相違ない事を認めます。

監事　渡川隆史

監事　山本富美

税理士　遠藤由香

財産目録

日本声楽発声学会

令和6年3月31日現在

（単位：円）

	摘　　要	金　額
1	現金	13,828
2	郵便振替（日本声楽発声学会）	305,059
3	ゆうちょ銀行　普通預金（8358588）	150,174
4	ゆうちょ銀行　定期預金（8358589）　学会基金	1,569,253
5	未収金（会費未収分　77　名）	1,105,000
合計		3,143,314

※5　未収金は滞納されている金額ではありますが、会計上は資産として計上されますので、このような表記となっております。

［議案 4］ 2024 年度(令和 6 年度)事業計画案

1. 例会・研修会および定期総会

「夏季研修会＆歌の集い」 2024 年 9 月 15 日(日)～16 日(月・祝)

会場:蔵王町ふるさと文化会館「ございんホール」

15 日(日) A「講演」:森幹男氏

「口笛原理の解明による誰でもプロ並みに口笛を吹ける最適口笛吹鳴法

～歌声との対比を用いて～」

B「現代日本の作曲家シリーズⅫ」:木下牧子氏

「合唱曲と歌曲のレクチャーによる作品解説」

モデル歌手：小森輝彦氏、馬場翔夏氏、松浦恵氏

モデル合唱団：山響アマデウスコア（指揮：渡辺修身氏）

16 日(木) C「音声生理学講座」:香取幸夫氏

「音声・嚥下障害の外科的治療」（仮題）

D「歌の集い」

独唱、合唱等 5 組を予定

「第 115 回例会」 2024 年 11 月 24 日(日) 会場:東京藝術大学を予定

10:00 A「研究発表」:未定（募集中）

13:00 B「特別講演」:渡嘉敷亮二氏（東京医科大学教授）

15:15 C「現役声楽家の演奏とお話」:森谷真理氏

「第 116 回例会」および「第 61 回定期総会」 2025 年 5 月 25 日(日) 会場:東京藝術大学を予定

10:00 A「研究発表」:未定

13:00 B「特別講演」:加茂下 稔氏（武蔵野音楽大学講師）～予定

15:15 C「現役声楽家の演奏とお話」:未定

2. 定例理事会

学会の舵取りを担うべく理事会を約月 1 回のペースで開催し企画・運営に鋭意従事する。

3. 定例執行部会

理事会に検討課題や運営の方向性を提示したり、シンクタンクの責務を担ったり、フットワークよく学会の潤滑油となるべく些事にも目配りができるよう下支えとなる執行部会を適宜開催し実務に備える。

4. 各種委員会

還暦を迎える当学会は、昨年その根本を見直すべくいくつかの委員会や部署を設置した。その一つに「学会理念、および倫理綱領委員会」があり、学会の使命や存在意義等、基本的な価値観を明らかにした上で明確なビジョンを掲げることを一つの目途としている。また「声楽発声用語集編纂検討委員会」においては、14 年前に作成し上梓した用語集を、その後の発展や変遷に沿って偏好との調和を推し進め、価値の普遍性を一層究めるべく努力する。この他 IT 促進部の活動等、時世に即した展開を推し量りたい。

5. 出版物

◉ 学会誌『声楽発声研究』No.15 2025.5 月下旬発行予定

◉『学会通信』

No.52 2024 年 10 月 発行予定

No.53 2025 年 3 月上旬 発行予定

［議案 5］ 2024 年度(令和 6 年度)予算案（次頁参照）

◉ 来期の予算案の予算建ての主な理由について

学会運営費は、蔵王町での夏季研修会で例年より会場費を抑えられると試算したが、遠方から講師をお招きする関係上、交通費、宿泊費等が掛かると見込み増額とした。

印刷費は、本来 2022 年 3 月発行の学会通信 49 号が 2023 年 4 月にずれ込んだことで今期印刷費が例年より多く計上されたことと、キンコーズでのセルフ印刷作業をより改善することで約 120,000 円削減できると試算した。

また、今期計上されていた選挙関連の費用がなくなること、すでにゆうちょダイレクト導入による振替通知票の郵送廃止と、学会の封筒発注回数が来期は 1 回で済むこと、アルバイト 1 名 1 回分を減らせることなどの理由から、支出全体を約 3,620,000 円までに抑え、収入では新会員の入会と未収金の回収、夏季研修会の参加者増加を見込み、僅かではあるが黒字化を目指す。

2024年度（令和6年度）予算案

日本声楽発声学会　2024年度（令和6年度）予算案

自　2024年4月1日　　至　2025年3月31日

収入の部　（単位：円）

項　　目	2023年度決算	2024年度予算	備　　考
前年度繰越金	0	0	
正会員会費	3,158,000	**3,100,000**	入会金、年会費
事業収入	400,700	**530,000**	臨時会員、夏季研修会参加費及びチケット代
雑収入	83,000	**40,000**	広告掲載料、学会誌販売
合計	3,641,700	**3,670,000**	

支出の部　（単位：円）

項　　目	2023年度決算	2024年度予算	備　　考
理事会、委員会、学会関連費	999,669	**1,038,000**	
（学会運営費）	957,669	1,000,000	会場費、講師謝礼交通費、vimeo年間使用料
（会議費）	42,000	38,000	zoom使用料、会議室使用料
印刷費	1,047,355	**930,000**	
（学会誌）	823,130	825,000	学会誌第14号
（その他）	224,225	105,000	例会・総会資料、学会通信
通信費	433,995	**459,000**	
（発送費）	240,696	260,000	総会資料、学会誌、学会通信
（電話代）	51,340	52,000	事務所電話代
（振込手数料）	6,480	7,000	
（HP運営・作成）	135,479	140,000	HP維持管理費
学術会議関係費	50,000	**50,000**	日本学術会議協力研究団体協力金
研究費補助	30,000	**30,000**	長野支部研究費
【事務局運営管理費】			
事務所費	252,968	**245,580**	
（資材保管料）	30,000	30,000	学会誌バックナンバー等保管料
（事務所費）	120,000	120,000	10,000X12
（交通費）	9,248	10,000	会場使用手続き
（会計指導料）	93,720	85,580	遠藤会計事務所、弥生会計年間使用料
人件費	755,000	**747,000**	
（事務局員）	629,000	629,000	50,000X12、例会等受付業務
（アルバイト料）	126,000	118,000	例会・夏季研修会スタッフ
事務費	71,129	**41,000**	学会封筒、事務用品、プリンタインク等
機材・備品	10,000	**10,000**	
広告宣伝費	0	**0**	
旅費交通費	18,432	**15,000**	会計監査交通費
雑費	88,703	**54,000**	理事講師昼食代等
貸倒損失	70,000	**0**	
選挙費用	77,440	**0**	
予備費	0	**0**	
計	3,904,691	**3,619,580**	

収入−支出＝　　**50,420**

［議案 6］ 会則改正案 2 題（提案） および 細則改正案 1 題（報告）

＊会則 第 13 条 の変更提案

第 13 条　役員の職務、権限

（現行）

1. 会長は本会を代表し、会務を掌握する。副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時、その職務を代行する。
2. 会長、副会長および理事は理事会を構成し、各々所定の職務を行う。理事の職務分担は以下による。

総務（含事業企画）、財務、研究・教育、演奏、広報（情報・国際・学会通信）、編集

3. 監事は本会の会計を監査するものとし、理事会に出席して意見を述べることができる。
4. 事務局次長は事務局長を補佐し、事務局長に事故あるとき、その職務を代行する。
5. 幹事は理事会の指示によって会務の執行を行う。
6. 会長は必要に応じて理事会の議を経て、所定の問題に関する諮問委員会を設置することができる。

（改正案）変更箇所を下線で示す

1. 会長は本会を代表し、会務を掌握する。副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時、その職務を代行する。
2. <u>会長、副会長、事務局長および会長が指名する理事は執行部を構成し、理事会に提案する議案を検討するなどの職務を執行する。</u>
3. 会長、副会長および理事は理事会を構成し、各々所定の職務を行う。理事の職務分担は以下による。

<u>総務部（含事業計画）、財務部、研究・教育部、演奏部、</u>

<u>広報部</u>（情報・国際・学会通信）、<u>編集部</u>

4. 監事は本会の会計を監査するものとし、理事会に出席して意見を述べることができるが<u>採決には加わらない</u>。
5. 事務局次長は事務局長を補佐し、事務局長に事故あるとき、その職務を代行する。
6. 幹事は理事会の指示によって会務の執行を行う。
7. 会長は必要に応じて理事会の議を経て、所定の問題に関する諮問委員会<u>等</u>を設置することができる。

（改正理由）

長年に亘って会の運営、執行に重要な役目を担ってきた「執行部」の文言が、会則に謳われていないことから、その位置付け、任務を明確にせんとし、会則に盛り込む提案をするものである。また理事の職務分掌を明確にした。なお、IT 促進部が会則のどの項にも当てはまらないため第 7 項の「諮問委員会を」を「諮問委員会等」に改めた。

＊会則 第 21 条 の追加提案

会則第 20 条の後に以下の条項を追加する。

第 21 条　細則の制定

この会則による会務の執行についての必要な細則の制定は、理事会の議決を経て、総会で過半数（委任状を含む）の認を得なければならない。

＊細則 3. 会費及び入会金 の変更報告

細則 3. 会費及び入会金

（現行）

イ．本会の会費は次の通りとする。

正会員（年額）　10,000 円

学生正会員（年額）　5,000 円

臨時会員（例会 1 回）　6,000 円

学生臨時会員（例会 1 回、夏季研修会 1 日 ）　3,000 円

賛助会員（年額一口）　30,000 円

ロ．入会金は、正会員は 10,000 円、学生正会員は 5,000 円

（改正案）

イ．本会の会費は次の通りとする。

正会員（年額）　10,000 円

学生正会員（年額）　2,000 円

臨時会員（例会 1 回）　6,000 円

学生臨時会員（例会 1 回、夏季研修会 1 日 ）　1,000 円

賛助会員（年額一口）　30,000 円

＊学生臨時会員は学部、および大学院の学生をさす

ロ．入会金は、正会員は 10,000 円、学生正会員は 5,000 円（正会員になる際には 5,000 円を追納）とし、入会時に納入する

報告事項

(1) 役員、会員の動向について(2024 年 3 月 31 日現在)

◉ 会員 256 名(一般:247 名、学生:9 名)⇨ [註]役員 10 名は会員数には加えない

新入会員 28 名(一般:23 名、学生:5 名)　　入会順敬称略

山内純治、正木実季、田中弘樹、秋元彩佳、岡﨑順子、山口裕加奈、牧山亜紀子、我妻健太、我妻万希子、佐橋美起、吉田浩之、細梅睦子、新宮央子、森幹男、及川泰生、金井英子、表まり子、山口智子、近藤秀明、佐藤彩、髙山真琴、伊藤麻里絵、新山隆健、佐藤智子、竹内望、井上愛理、阿部花音、馬場翔夏

退会者 19 名(一般:17 名、ご逝去:2 名)　　敬称略

荻本洋子、高松京子、菅英三子、宮崎歩、小久保宜昭、中尾順子、片野耕喜、穴井純成、澁谷節子、生出悦子、五郎部俊朗、豊田肇、畠山美紀、内尾紀彦、野田正太、浦野なつき小泉由美子

泉惠得（ご逝去）、川上勝功（ご逝去）

(2) 学会ホームページ見直しについて

かねてより現ホームページの維持費がサポート内容に対して割高であるとの指摘があり、広報部および理事会にて検討の結果、サポート体制、初期費用、維持費において当学会が求める条件を満たす移管先として２社が最終候補に挙がっている。引き続き理事会で精査し、新ホームページ開設準備を進めたい。

(3) 会費納入状況、およびシステムの見直しについて

会費納入状況については前期より改善がみられるものの、財産目録に記載のとおり未だ 100 万超の未収金がある。複数年度にわたる未納入者もおられることから、今後も徴収を進めていく。また、年会費の自動振替専用口座開設を協議しておりましたが、他の決済システムも視野に入れ、さらに検討する予定である。

(4) 学会理念および倫理綱領作成検討委員会について

本学会の目的・事業内容は会則に示されているが、劇的な社会の変容を受け、改めて目的、存在意義について考え、改めて理念や倫理綱領として言語化する必要性が生じている。「理念・倫理綱領」は学会活動の根幹を規定する基盤であり、確固とした信念と共に柔軟な対応力を兼ね備えた理念・倫理綱領が求められる。

本学会は多様な専門性を持つ会員によって構成され、これは現代社会の縮図ともいえる。また、声そのもの、発声メソッドの多様性を尊重しつつ学会活動を発展させていくことは、社会貢献の可能性を広げていくものと考えられる。

変化していく社会への対応、次世代のために求められる活動について委員会を設置し、今後検討していく。

(5) 声楽発声用語集再編纂について

2010 年に本学会より発刊された声楽発声用語集の内容の項目は、Ⅰ解剖・生理部門 (P8~43)、Ⅱ音響物理部門(P46~58)、Ⅲ音楽部門(P60~69)の大きく３本柱の項目になっている。ⅠとⅡは大きな変更の予定はなく、内容の重複した箇所の訂正や誤字脱字チェックをわずかに残すのみである。Ⅲについては、音楽部門担当の佐々木会長からの原稿を待機している状況である。

(6) 会員名簿作成状況について

昨年度に引き続き、会員名簿の作成作業を行い、可能な限り現会員名簿の今年度内の完成を目指す。

現在、メールでの受け取り 84 通、郵送での受け取り 65 通の計 149 通が提出（2023 年度新入会員にはこれからご案内の予定）されていることを確認した。さらに名簿作成に着手すべく未提出者への呼びかけを行う。なお、名簿の編集は事務局補佐の川上ひろみ会員を中心に作業を遂行しているが、ご主人の川上前会長の急逝による事情により、現在の進捗状況は未詳である。また、2023 年度以降の新入会員に対しては今後登録の案内を行う予定であり、同時にメールアドレス未登録の会員へ向けても事務局より登録の呼びかけを続ける。

(7) その他